夕刊 磐城新聞
十二月一日發行
(日曜祭日翌日休刊)
振替東京一〇八五五六番

福陽美術展を見る

ケイ・テイ生

上

この街、人口位三萬、盲ばかりでなしに目明も御座る

福陽美術展を拜見するに及んで平町の人達は馬鹿にされて居るのぢやないかと思つた。展覧會と申すものは、もうすこし展覧會らしい約束のもとに表裝やらかざりつけがある筈だ、作品をせましとならべたてゝ即賣會の如し、それに一つ一つの出品作が、書畫屋もち運ぶ程度のおざなりの絵ばかし、出品畵らしい内容のみこたへ僅もなし

折角ながら、この次この展覧會は平に於ては書幅即賣陳列會と改めて開催してはしきもの、協讃會を作つて迄後援する程の代物でなし、精々書畫屋が主催すべき一歩も出てゐない、大家達がともに組織してるんだからと餘りに土地の人はお人好ばかりよくもそろつて御座ると嗤ひたい、立派だとか素晴らしいとか感心するも御自由ながら、以外に思つた歎ある人も決して尠くないといゝたい

自分は繪をかく立場から作品の心にうけたまゝをかく、天泉、燕琴、秋民、磐谷、來平の諸先生、三良、澄白、諸氏の作品を黄口若輩の勝手なる作品批評にのせてもらいたい

まづ、帝展出品畵から(許ふ御名稱略)天泉。二點餘りに概念的な手法ゝ傍になつてゐる如し、隅ゝ迄克明に扱はれた技術も田舎にはいざ知らず、華麗さ、肝を猶はせることだらうが、賦彩の感覺が平板的だ、畫面の構成に於ても極端に神經を尖らせながら通俗的などこまでもの説明にかちすぎてゐる様だ、自由なる闊達さ、ゑかゝざるの間の餘韻に乏みがある、歴史畫家の考證が時代を敎へながらかくある如し、昔の姿がぴつたりときないのはどうした譯だらう、二點のうち作品絲光、群青の山峰、とても氣になる、一層のこと松杉の遠山の感じを輕く布いてほしかつた、國寶山のぞき觀音、畵肉、慈光、藤原期密教全盛の求心からうまれたもの、白水の阿彌陀堂かくやらん樂土境、堂宇の彌陀、全貌を表したのには賛成出來かねる、淨境の俗塵にしみて騷がしきことぞかした

ラヂオの雜音

水城妙子

雪の夜似げもなく鳴きつのる
きじの叫音
砂糖つぼがニッケルの蓋をはねのけ

サーカスの曲をふきならす
野性の野ぎつね
さまざまの靜止物体の中で
奇聲をはりあげる都會狂想曲
あらゆる文明の反射光線の中に
かくれた人間の横暴さがある

夜業

好間 伊藤麥山子

山の夜は柿剝く業にいそしめる
子らゝねて柿剝く業に火がとろり
山風に柿剝く夜ぞわびしけれ
指痛み柿剝く夜々をすごしきぬ
沸り湯に幾柿剝きし指かざす
榾の火に幾剝きし指もみぬ
月冴ゆる柿剝く業を茶に忘れ

新年短歌俳句募集

一、題 (イ、新年雜詠 ロ、牛に因めるもの)
數隨意、但し歌俳を別紙に認むること
一、締切 十二月十五日

今日の訓へ

哲名山人

粗衣粗食に甘んじてゐるものは、心はあつさりしてゐて正直で、人のなさけあるものが多いものである、之に反して美衣美食に腹を肥し身を飾るものは多く名聞利慾のため言を左右にし、その志下女下男にも劣るものが多いものである。故に、子の曰く『士道に志して、惡衣惡食を恥づる者は、未だ與に議るに足らず』と

12月2日 △赤穗義士最後打合(元祿一五)△那翁一世戴冠式(一、八〇四)△米國モンロー主義宣言(一、八二三)△澄宮崇仁親王御成年式、三笠宮家御創立(昭和一〇)

小説 高橋是清 (181)

松浦泉三郎作 佐々木今朝吉畫

恐慌(三)

關のやうな沈默の中で全閣僚の視線は悉く是淸一人の顏に注がれてゐた。是淸のおし默つた顏には病後の憔悴がありありと寧ろ痛ましいまでに表れてゐた

田中首相が錆のある聲で

『では――』

低く言つて是淸を見た

是淸は立つた

閣僚は息を呑んだ

『事既にこゝに至る!』

その聲は思つたより力強く、若々しかつた

『既にこゝに至つた上は最早姑息な彌縫策は何等の効果を奏しえぬのみか、却て禍を深めるのみであります。こゝに於て私は諸君の前に二つの應急策を提出して御贊成を求めたいのであります、この二案以外に道は既にないと私は斷ずるものであります。その一は緊急勅令に依る二十一日間の支拂猶豫令、即ち謂ふ所のモラトリアムを全國に布く事であります他の一つは急遽臨時議會を召集して臺灣金融機關の救濟並に財界安定に關する法案に對してこれが協贊を求める事であります。この二案を至急實行する事が刻下の最も妥當な措置と存じますが、首相並に諸君の御意見は如何でありませう?』

言葉短にかう言つて是淸は靜かに一座を見た

『妙案ぢやと思ふ。おらに異議はない。贊成ぢやが……!』

田中首相が蘇つたやうな視線を是淸に向けて言つた

滿座一人として異議を挾む者もなく、全員一致で同意直に法文の作成に取りかゝつた

法文は成案を得て翌日樞密院に廻付され、御諮詢を賜はる事になつた。然しこ發布まで少くとも前後二日間は要するものと見なければならなかつた

その二日をどうする

この間の應急處置にして若し妥案を欠く事があつたなら、事態は又どんなに惡化するか判らぬものがあつた

是淸は全く多忙だつた

閣議の席を退くと上塚秘書を呼んで目打ちした

上塚秘書は敏捷に走り去つた

間もなく全國組合銀行の代表者達が自動車を飛ばして馳せ集つて來た

直ぐに是淸が上塚秘書に助けられるやうにして疲れた老軀をその席に運んで輕く一禮して席に就くと共に

『お集り願つて恐縮です』

靜かに言つた

一同は無言で禮を返した

是淸は直ぐに言葉を次いだ

『實は……』

『今回の思はざる大變については官民協力の下に一刻も早くこれを食止めん事には、事態は益々惡化の一路を辿り終には收拾すべからざるに至る事は明かであります。故に我々は是非諸君の御協力を得たいと存じて御參集を願つた次第なので』

一同は依然無言で頷いた

『就いては政府はこの際の應急策として二十一日間のモラトリアムの實施を決定したのでありますが、その實施までの時日が明二十二明後二十三と、この兩日を要しますので、その間民間銀行は何れも自發的に休業して戴きたいと思ふのでありますが、銀行側としての御意見は……?』

代々者の一人が周圍と囁き合つて立上ると

『御意見に從ひたいと存じます。その事に關しては實は私共の方でも協議中の事であります。何分宜敷きやう御指示と御盡力とを切にお願ひ申上げたいと存じます次第で……』

言つて慇懃に一禮した

バス孃の名所案内 六

エッチ・エス生

御戰死當時の軍帽軍劔の碎けたまゝの關の榮光の軍刀などの遺品か保存されてあります。軍神を慕ふて訪ねる人が絶へないそうで御座います。私はこゝで橘中佐御戰死の有樣をお話し申すので御座いますが、皆樣の御耳にも新たらしい事で御座いますから省略させて頂きます、只今長崎縣では當地に橘神社創立の計劃で御座います

皆さまいよ〳〵雲仙西登山口の小濱町へ參りました、長崎市から十五里であります、あの海岸に漾々と立ち昇る白烟こそ小濱溫泉で御座います。浴槽の外に溫泉プールも御座います、亦近代設備を有する海水浴場で御座います、一ケ年に四十萬餘の浴客を迎ふるホテルや旅館が軒を並べて皆をお待らしてをりますから波の音を枕の下に聽き時知らぬ溫泉情緒に浸ることが出來ます。尚小濱溫泉はリユウマチス、婦人病、皮膚病神經系統病に効能ありと言はれてをります

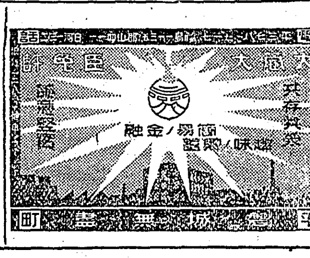
皆樣只今登つて居ります坂道が雲仙の西登山口で御座います、これから山腹を縫ふて雲仙溫泉まで三里二十二町自動車で約四十分の行程となつて居ります、此道路は今から四十年ほど以前雲仙に登山する外人の爲めに國際觀光道路で御座います

小濱にお遊び下さいました皆樣はそこのホテルや旅館が何れも取扱ひが親切で溫泉場に有勝な惡弊も少く居心地のよい親しみ深い溫泉地とお感じなさいましたことゝ存じます。この小濱と風物と情緒もすつかり異る雲仙公園のアウトアインを只今から簡單に説明させて頂きます、暫くの間皆樣右側の美しい眺望を心ゆくまで味ひながらお聽き下さいませ。

廣告

連日滿員御禮
豪華なサロン
新たな設備!
御同伴で御商談
御會合に
(心付御會計の一割外拜辭)
御食事
喫茶
小宴會
グリル
バッカス
電七〇二

酒とマツイ
おでんの榮ちやん
平田町花ノ里
電話三三番



磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

主婦の友、婦人倶樂部
婦人公論、婦女界 推奬
S式高速度編物機の
最新流行
編物大講習會
都下大婦人雜誌社が筆を揃へて激賞された最も理想的な編物機です。
會期 十二月一日より……五日間
會場 ハシモトヤ糸店階上
時間 毎日午前九時より午後四時迄
會費 會期中金壹圓也
特典 會期中專賣特許エス式編物機を無料で御貸し申上げます。
主催 東京大日本編物研究會
後援 ハシモトヤ糸店
平町田町 電十四番

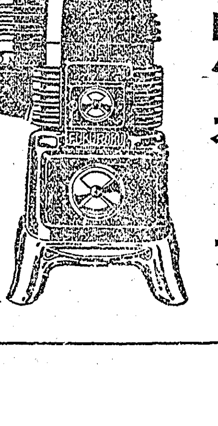
チフスノ豫防ニ
三共ノチフス内服ワクチンヲオススメ致シマス
三共チフス内服ワクチン
大人一人分金二十錢
小兒、大人量の半量
有効期間…本劑服用後約一ケ年
三共株式會社
特約店
關内藥局
平町四丁目
電話四〇番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前
(電話五五・三三九番)
茨城縣土浦町田宿
(電話六五三 八二四)
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、植物油、胡麻油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
常磐線關本驛前(電話平潟五四)
常磐線四倉驛前(電話四八)
久慈濱支店(電話二三七番)
小名濱支店
海上給油及油槽所(大津、平潟 江名濱)

(三共製)
チフス 内服 ワクチン
(大人・一人分 小兒・二人分) 二〇セン
西村屋藥局
平二・電三

時代の要求 皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市内…三〇錢 市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
官行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

ほねつぎ
平町公園下
桑原柔道整骨院
電話六七四
神經痛ニ オレンヂ
リウマチス パスタ

皆さんから信用のある
フクロク・ストーブ

…石炭・コークス・豆炭…
平驛前
販賣店
ツ 阿部石炭商店
電話三七番

難波醫院
內科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平町大町
電話五〇二番
(看護婦見習、看護婦募集)
醫學博士 難波 睦

夜間診療
胃腸性病 專門
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
松村胃腸性病科醫院
(平町南町電一〇一七番)
(見習看護婦募集)

自轉車・リヤカー
品質本位と正直な値段
フタバ商會
平・新川町郵便局前
谷屋呉服店トナリ

性源寺新住職 渡邊則雄氏に決る
組寺住職卅餘名列席の下に きのふ晴の立職式

『坊さんの桃色事件』として當時世間を騒した平町長橋町性源寺住職宍戸正勝氏(三六)は事件の表面化と共に辭表を提出したので後任者を選定中の處此程前住職故渡邊則成氏長男則雄(三〇)氏に決定を見昨三十日飯野村荒川龍門寺に組寺住職三十餘名並に惣代人列席の下に厳かな立職式を擧げた

哀れ妻子を置去りに 愛に生きた宍戸師 はや助川町に轉任

一方宍戸氏は僧籍を還俗したので晴れて愛人宮崎千代子(三八)と茨城縣助川町に『愛の巣』を構へてゐると云ふ

尚愛に生きた宍戸氏に去られ路頭に迷ふ悲運に立ち至つた内妻は子供六人を抱へた上いま身重なので寺惣代會で協議の結果向ふ一ケ年間性源寺で扶養する事となつた

海軍志願兵檢査 願書締切り來廿日

郡下來年度の海軍志願兵檢査は二月十八日より二十日迄平第三小學校で行はれるが割當豫定人員は二百四十名、願書締切りは來る二十日である

尚本縣の割當ては二千三百八十名で本年に比較すると五百名增加となつて居るが目下の應募者は三十名であると

受驗者注意

イ、檢査前は特に身體に注意し前夜は安眠すること
ロ、必ず入浴して身體を清潔に爲し置くこと
ハ、耳垢を充分に除去し置くこと
ニ、自己の被服、所持品等整頓の爲風呂敷を用意し來ること
ホ、吞食鉛筆携帶のこと
ヘ、尋常小學四年以上又中學校の通信簿及青年學校手帳持參のこと

。。。植田町會 明後三日午前九時より招集、寄附採納、追加豫算を附議する

六割は花嫁準備 磐女明春卒業生の 嬉しい志望調べ

磐女では來春卒業の四年生百八十九名に就き十一月末現在で志望調べを行つたが左の如く例年と大差なく六割強は花嫁準備の家事に就き上級進學としては師範二部に進む十五名が最多である

〔進學〕師範二部一五 裁縫一四 女高師 家政校各四 女醫專 實踐女專各三 共立女子專門學校 東京女子職業校 大妻技藝校各二 日本女子高商 女大 豫備校各一

〔其他〕職業八 日赤看護婦養成所三 家事一一六 未定一〇

正木校長談 他地方校に比し上級校志望の多いのは、東京に近く、サラリーマンの父兄が多く富の程度が均らされてをり、時代にめざめ獨立望む者多いからだらう

氣象觀測所 小名濱に設置

明年四月から開始される東京札幌間航空路に備へる國立氣象觀測所は文部省の明年度新規事業として正式設立を見ると工費二萬圓、二ケ年繼續工事、明年中本廳舍を完成して愈よ本格的事業を開始する

けふ俵米共販

前二回出荷皆無で休んでゐた石城販聯の俵米定期共販は今一日行はれたが出荷は草野信組五十俵、飯野四俵であつた

チフス撲滅に備へ 好間川保存會結成 きのふ對策協議會

チフス續發に對して平署では既報の如く關係各町村長並に各種團体首腦部を招き昨三十日午後一時から同署會議室にこれが豫防協議會を開いた結果、今後は好間川の流域各町村より『好間川水源地保存會』を結成衛生上の諸對策を講ずる事となつた

一方縣衛生課中曾根技師は皆川平細菌檢査所長と協力今一日は好間村、明二日は箕輪村の健康診斷を行ひ三日歸縣する

農事講演會 丁抹歸朝者增田氏

濱三郡農會主催農事大講演會は來る十五日午前九時より植田公會堂に於て開催するが講師は最近デンマークより歸朝者の增田良一氏で參會者四、五百名位に上るべく盛會を豫想されて居る

神谷新村長 佐藤庄氏當選

村長選擧の神谷村會は昨三十日午前九時開會、臨時町村補給金交付に基く十一年度追加更正豫算其他を可決後滿場一致で前代議士佐藤庄太郎氏に決定を見た

栃木縣人會 來五日谷口樓で

郡內在住者より成る栃木縣人會第二回總會は來る五日午後五時から平町谷口樓で開くが出席者百五十名、會費一圓五十錢

鰯の大漁だ 江名、中の作港賑ふ

江名並に中の作兩港はいま鰯の豊漁に惠まれ魚肥製造業者は晝夜兼行の大車輪で何れもホク〳〵顔、水揚相場は石油箱入り一圓四十錢の高値を呼んで居ると云ふ

簡保貸出額決定 平、四倉へ計十萬餘圓

遞信省では三十日午前十時本年度第七回簡易保險積立金運用委員會を開き夫々貸付に就てを決定したが地方關係次の如し

四倉町	二一、〇〇〇
平町	八〇、〇〇〇

けふ火防デー 平消防無火災祈願

けふ全國火防デー、平消防組では午前七時組員百五十名參集、直に縣社子鍬倉神社に無火災祈願をこめた後秋季檢閲を行つた、又町內各火防組でも各戶のカマド煙突檢査を行つた

。。。江名町會 三十日午前九時から開き臨時財政補給金交付に伴ふ歲入出追加更正豫算、戶數割賦課額決定、寄附採納其他を附議した

平窪村で 合併調査 けふ平町を訪問 開始

既報—合併の調査委員を擧げた平窪村では昨三十日午後一時から第一回委員會を開き

一、合併後平町の執るべき農村施設（敎育、衛生、火防等）
一、平町の賦課負擔

の二項に就いて協議の結果今一日午後一時委員一行が平町を訪問調査を開始した

植田校ピアノ披露

植田町では昨卅日午前十時より今回購入した小學校備へつけピアノ（價格千五百圓）を學務委員その他に披露した

平窪振興部落常會

縣の指示に基き結成された平窪自治振興委員會第一回總會は去廿八日午後一時から同村小學校に開き出席四十名、今後は毎月一回部落常會を開いて趣旨の徹底を圖る事となりこれが區劃其他を決定した

平町の—納税デー好績 前後三日間を通じ 納つた二萬兩

『果せ納税……』の反響がこんなに迄現れた—去る二十三日から三日間の納税デーに際し平町では町內各小學校と連絡これが趣旨の宣傳に努める一方第一日の祭日にも取扱つた結果その納入成績は

國税三、四九二圓六五錢
縣税五、五九一圓一四錢
町税一二、四〇二圓九九錢

合計二萬一千四百九十五圓一錢、これを昨年同期と較れば國、縣兩税は七百八十圓十三錢減じたが町税では何と五倍近くの增額を示した、總額では昨年の約倍額八千九百八十九圓六錢の增加であつた

この父親に罪あり 少年泥起訴猶豫

館二日市その他平町各商店を荒し再三平署の厄介になつた平町六丁目一〇一司馬市郎(一三)假名—の父相馬中村町生れ前科三犯司馬捨重郎(五三)は伜と共に石合檢事の取調べを受けてゐたが『未成年の伜に盜みをさせた』の廉で左を起訴され市郎は起訴猶豫になつた

市郎は昨年十一月から本年四月にかけ十數回に亘り三丁目橫山彥介商店から地下足袋、ズック靴等百餘足を盜み之を內郷村某古物商に賣却したもの

海中に轉落 四倉沖で漁夫遭難

小名濱町古港三代義勝所有漁船辰丸乘組漁夫富岡紹(四五)は二十八日午前十時頃四倉沖合で漁撈中誤つて海中に轉落行方不明となつたので目下搜索中

青年漁夫窒死

江名町折戶吉田豐太方漁夫小田喜一郎(一七)君は二十九日夜主家の漁船福田丸內密閉の部屋に就寢、炭火のためガス中毒を起して絶命してゐるを三十日朝發見した

親類を毆る

田人村黒田農綠川福彌(三三)は去る二十七日午後四時頃、親類であり乍ら日頃犬猿の間柄である同字綠川春喜(四七)が自己所有の畑中を通過せんとしたのを見咎め竹棒を以て同人の前額部を毆り深さ骨膜に達する傷を負はせた事發覺、目下植田署で取調中、被害者は植田町永井醫院に入院手當てを受けてゐる

百三十圓がめる 狡い職工告訴さる

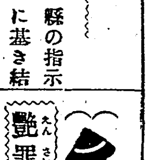
內郷村御厩居住赤井村日本窯業會社職工吉田正義(三八)は神谷村中神合箱崎タケ(四〇)から私文書行使詐欺で平署に告訴された

吉田は去る八年七月タケの次男義雄(當時十一才)を栃木縣宇都宮の某自轉車店へ小僧に世話したが音信がないのでタケが不審を抱いて行つて見ると自轉車店の小僧とは眞つ赤な噓、栃木縣河内郡古里村農杉本直一郎方へ徵兵檢査迄前借百五十圓で住込ませ、タケには僅か二十圓を送つたきり殘額百三十圓の猫バ、をきめ込んでゐたもの

詐欺。

田村郡二瀬村中塚御嶽敎布敎師吉成勇(四八)は昨年六月內郷村小島の同敎信者渡邊龜喜から階級を上げてやる手數料二十圓を騙取此程平署に檢擧

艶罪黒白



◇飛んだ人違ひから根も葉も無いドラ息子の相手役として二三新聞の情痴欄に登場させられた三好家の福助事根本フミちやん時節柄餘り光栄でも無いのにすつかり柳眉を逆立て、昨日の夕方餘り遠くでもない新聞社に出掛け…!。顔良し、聲良し、◇さながら水谷八重子の樣な容姿で世にも淒艶な微笑をほころばせ乍ら『アタシぢや無くつてよ』とか何とかやんわり正誤と云ふものを申し込んだとやら◇忘年會月に入つて次々と新妓出現。其後の分では金祭のシメ子、麗話番號さへ『呼んで見よ』の四三四番、早いがお德とある◇お次ぎ愛嬌良しの三よしモットーとする三好家から『小治郎』が熊谷直實のせがれの樣にいともサッソーとして現はれました◇今日から愈よ師走、藝者さん達にとつても正に受難時代、はづされぬ各方面への義理に逢いズロースを外す樣になる。なんてまさかね。

○……○

天氣豫報（小名濱測候所觀測）

今晩は南の風曇後雨
明日は北南の風曇小雨後晴

埃の巷

最近平町城山の各所に變態性慾者と思しき青年が現れ通行の婦女子を惱ましてゐる、某被害者の談によれば廿歲前後結襟黒洋服着の青年で夜七八時頃六間門湯殿山下の坂路その他に現れ女と見れば誰彼の差別なく挑みかかるといふので始めは判だつたが襲はれた者數名になるに及んで『痴漢出現』の風評瀕りとなり附近女子ある家では夜の外出を禁じてをり、平第二校でも昨日注意を發した程である

二日（小名濱測候所發表）

日出 六、二九 月出後 八、一四
日沒 四、二四 月沒前 九、三三
滿潮 前七、〇〇 後五、〇〇 干潮 前一一、五五

舊十月十九日 水曜 戊午 佛滅 危 參宿 新十二月二日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部

▲一白 難航を續け漸く港に歸還し得たる船の如し▲二黒 計畫する所一段の進境を呈すべき日病注意▲三碧 ちざを失ひし船の如し天運に任せ成行に從へ▲四綠 紛議を醸すの恐れある日短慮を戒しむべし▲五黄 勇猛心を起し倒れて後止むの意氣あれば吉▲六白 苦勞は次々に起り來るべきも焦らぬがよし▲七赤 弱を以て强をおさへ柔を以て剛を制するの日▲八白 禍ろく大に加はり利する所多大なる幸運の日▲九紫 希望容易に成り難し自重するが却つて後に吉

同情週間— 貧困者を救へ! 來る十一日から實施

貧困者を救へ!と平町では來十一日からの『歲末同情週間』に際し既報の如く同情袋を各戶に配布して應分の義捐を求める郡下各町村でも縣の指示による左記實施事項並に資金募集方法に基いて行ひ貧困の家庭に白米や味噌などを配給して少しでも樂しい正月を迎へさせようと言ふのである、縣では各町村長に通牒を發し青年團、在郷軍人會婦人會、産業團体、商工會議所赤十字支部等を總動員—實施上に遺憾なきを期する事になつた

◇實施事項

イ、學校 幼稚園 公會堂 寺院 敎室 劇場 映畫常設館 浴場 百貨店其他多數集合する場所に於てパンフレット、リーフレット等を頒布する事
ロ、パンフレット又はリーフレットを適當なる方法に依り各家庭へ成る可く行き亘る樣頒布する事
ハ、實施期間中の適當なる一日を以て各學校に於ける朝禮の際方面事業の講話をなす事
ニ、講演會、展覽會を開催する事
ホ、映畫其他演藝會等の諸種物を開催する事

◇同情金品の募集方法

一、趣意書、同情袋を作製し各戶に配布し義捐を乞ふ事
二、各種催物をなし收益を圖る事
三、全日本方面委員聯盟より購入したる繪葉書及『方面委員實話』等適當なる方法により販賣し收益を圖る事
四、地方の實情に依つて特別の方法を設けて金品を募集する事

廣告

吉田眼科醫院

新築落成
外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病科
內科、小兒科
岩手醫學士 萬波勳
院長 前田清美
病室完備（自炊ノ便アリ）
前田醫院
植田町本町 電話一二四番

七五三と歲末贈答品
福引付大賣出し
十二月三日ヨリ七日間
◇昂騰前に仕入れた最安値品と今冬の珍柄を豐富に取揃へ大提供
金三圓御買上毎に福引券呈上
福引景品（絹布座布團五枚、銘仙、新興大島布團綿、御風呂敷、御手富貴）
歲末贈答用品大提供
御婚禮花嫁殿方用品特賣
…御贈答にはこれが一番…三井の商品券…
七五三祝着特賣 記念寫眞撮影券付
金十五圓以上 御買上 合判 三枚組以上
金三十圓以上 キヤビネ
撮影は……十二月二十八日（各地寫眞館にて御利用出來ます）

おつとめ品
流行新柄ニコ〳〵 一圓均一
半天地 五十錢
正紺フトン地 七十八錢
松山絣 一圓六十錢
新柄メーセン 二圓五十錢
パラマウント着尺 一圓八十錢
全最上品 二圓七十錢
村山絣大柄小柄 五圓均一
レーヨン小紋 一圓五十錢均一
名古屋帶 一圓五十錢
本製江戶褄 十二圓ゟ
訪問着 十圓ゟ
御召 七圓ゟ
錦紗小紋 八圓ゟ
色無地羽織地 八圓ゟ
丸、帶 六圓ゟ
黒羽二重紋付 八圓ゟ
仙臺平袴 十圓ゟ
三井吳服店
平町 電三八 二八四

イヤ『君いゝ服を求めたね…』
レイの『ソレ……正札堂さ…』
高級仕立 セビロ 17.50ヨリ 三ツ組 25.00
實用向 セビロ 10.00ヨリ 三ツ組 15.00
男女通學服賣出中
東京で一番のライオン印をお召し下さい。
正札堂洋服店
平停車場通 電四三六番

建築請負
製材
同用材
各國銘木
秋山材木店
店主 秋山市造
植田町 電話六二番